

## 皮膚科学の進歩に寄与する研究報告書

# アトピー性皮膚炎 本当に化粧品で何とかなるのか

### ●はじめに

アトピー性皮膚炎の方の肌は、皮膚バリアが壊れ、異物が侵入しやすく、アレルギー反応を引き起こしやすい肌状態です。適切な化粧品を選ぶことで肌質を改善し、アトピー性皮膚炎が起きにくい肌質に変えることが期待できますが、完全に治すことはターンオーバーが深く関与するため難しいです。

### ●皮膚バリアの重要性

皮膚バリアを強化する化粧品を使用することで、アトピー性皮膚炎が起きにくい肌質に変えることが期待できます。

### ●皮膚バリアを強化する成分

一般的に「セラミド・ヒアルロン酸・グリセリン・アラントインなど」が重要と言われていますが、これらは主にアトピー性皮膚炎の乾燥や炎症などの症状緩和に焦点を当て、その効果も一時的です。皮膚バリアがバリアとしての働きをするためには、リノール酸という成分が不可欠です。

### ●バリアとしての働きをするにはアシルセラミドが重要

皮膚バリアの要は、細胞間脂質のラメラ構造の脂質です。これはセラミドを主成分とする脂質ですが、モノの出入りをコントロールするバリアとしての働きをするためには、セラミドにリノール酸が結合してアシルセラミド(セラミド EOS)が形成される必要があります。アシルセラミドは、皮膚バリアの機能を高めるために不可欠です。なお、セラミドはターンオーバーの過程で作られますが、リノール酸は体内で作られない必須脂肪酸のため、外からの補給が必要です。

### ●アトピー性皮膚炎が起きにくい肌質に変える化粧品

合成の界面活性剤を使用しないアシルセラミドを含むエマルジョン化粧品を市場で見つけることは困難です。しかし、天然の界面活性成分で水分と油分がエマルジョン化され、その油分にリノール酸を含有する化粧品「海森水」を使用することで、アトピー性皮膚炎が起きにくい肌質に変えることが、長年の使用実績からも認められています。ただし、個々の肌の状態や反応は異なるため、使用前にパッチテストを行い、皮膚科医に相談することも重要です。